

プラスチック類(乳白色)の分別方法

 が記載されているものは、すべてプラスチック類(乳白色)の袋に入れちゃって良いと思っている方、いらっしゃいますよね。

実はそれは間違いです。正しくない分別の大きな要因のひとつが、その思い違いです。

以下に正しい分別の方法を書きますが、そんなに難しいことでは無いので覚えて下さい。

プラスチック類(乳白色)の分別の条件

プラスチック類(乳白色)に分別して良い条件は主に3つです。

1. 一片の長さが30 cmより小さい
2. 汚れが無いもの
3. 全てプラスチックで出来ているもの

左記の3条件に満たないものは、燃やせるごみ(青色)や粗大系燃やせるごみ(紫色)、燃やせないごみ(赤色)等に分別します。

この3点を守れば良いだけです。

以下で簡単に説明します。

一片の長さが30 cm以上

一片の長さが30 cm以上のプラスチック製品は、粗大系燃やせるごみ(紫色)に分別します。

例として、プラスチックで出来た、衣装ケース等

ただし、粗大系燃やせるごみ(紫色)の分別にもサイズ制限があり、それを超えたら、有料の粗大ごみとなります。

汚れているもの

食品トレイ等は、水で汚れを落として分別します。

ただし、それを覆っていたラップは、汚れを落とすのが難しいので、燃やせるごみ(青色)に分別するのが無難です。

きれいに汚れを落とせた場合は、その限りではありません。

金属等が付いている製品

プラスチック製品だけど、一部金具等がついているもの

例として、洗濯ばさみ等
これは分解して、針金の部分を燃やせないごみ(赤色)に分別するのが正解。

しかし、分解できない場合は、そのまま、燃やせないごみ(赤色)に分別します。

おまけ 納豆の容器等

納豆のぬるぬるネバネバ…あれが残ったままの容器は、燃やせるごみ(青色)に分別です。
ですが、あのぬるぬるネバネバは流水で洗えば、きれいに落とせます。
また、納豆を直接覆っているフィルム。あれも流水できれいになります。
ただし、面倒くさいので、無理せず燃やせるごみ(青色)に分別しても良いかもです。
ちなみに、タレとからしの袋は、迷わず燃やせるごみ(青色)に分別しましょう。

編集後記 セタまつりで我々に会いに来てくれた子供たちの写真をたくさん撮りました。ぜひとも掲載したかったのですが、肖像権の関係で載せることができませんでした。残念です。
私の後任を今から探しています。エクセルとワードが少し出来るスキルがあればこなせる作業です